

# 軍の記憶

## 久留米の戦争遺跡を訪ねて



上から 忠霊塔、放生池／陸軍橋、遙拝台

### ◆関係年表

| 和暦    | (西暦)   | 主な出来事  |
|-------|--------|--|
| 明治 2  | (1869) | 久留米藩 11 代藩主有馬頼咸の命により、山川村(現・山川町)に招魂所が設置される  |
| 7     | (1874) | 佐賀の乱   |
| 10    | (1877) | 西南戦争   |
| 22    | (1889) | 久留米市、市制施行  |
| 27    | (1894) | 日清戦争、始まる(～明治 28 / 1895)  |
| 30    | (1897) | 歩兵第 48 連隊、三井郡国分村(現・国分町)に移駐する<br>歩兵第 24 旅団司令部、三井郡国分村に開庁、久留米衛戍病院が設置される                             |
| 37    | (1904) | 日露戦争、始まる(～明治 38 / 1905)<br>歩兵第 48 連隊、日露戦争に従軍する   |
| 38    | (1905) | 久留米俘虜収容所(ロシア兵)、三井郡国分村に設置される  |
| 39    | (1906) | 久留米高等女学校生徒、久留米俘虜収容所を慰問する   |
| 40    | (1907) | 第 18 師団、三井郡国分村に創設、師団司令部、現・久留米税務署の地に開設する  |
| 41    | (1908) | 歩兵第 56 連隊(現・久留米駐屯地)、姫路から移駐する   |
| 42    | (1909) | 工兵第 18 大隊、小倉から移駐、国分村役場(現・高牟礼会館)を師団長官舎とする   |
| 43    | (1910) | 久留米偕行社、師団司令部隣接地(現・私立久留米学園高校)に開設する  |
| 44    | (1911) | 高良台演習場が完成する<br>久留米市及びその近郊で陸軍特別大演習が実施され、県立中学明善校に大本営が置かれる  |
| 大正 3  | (1914) | 第 1 次世界大戦、始まる(～大正 7 / 1918)<br>第 18 師団、山東半島に派遣される<br>久留米俘虜収容所(ドイツ兵)、設置される(当初、高良台演習場など 4 ヲ所に分散収容) |
| 8     | (1919) | 航空第 4 中隊、第 18 師団隷下として所沢から大刀洗飛行場に移駐する<br>ドイツ兵捕虜、久留米高等女学校で「第九」を演奏する                                |
| 9     | (1920) | 久留米俘虜収容所、捕虜を順次送還、閉鎖される   |
| 14    | (1925) | 第 18 師団及び第 56 連隊が廃止され、第 12 師団が小倉から移駐する<br>戦車第 1 大隊(全国初の戦車隊)、第 56 連隊跡地に創設される                      |
| 昭和 6  | (1931) | 満州事変、勃発  |
| 昭和 7  | (1932) | 混成第 24 旅団(第 12 師団歩兵第 24 旅団を基幹とする)、第 1 次上海事変に派遣される<br>工兵第 18 大隊所属兵 3 名、上海郊外廟巷鎮で爆死する(爆弾三勇士／肉弾三勇士)  |
| 昭和 8  | (1933) | 石橋正二郎、工兵第 18 大隊基地内に三勇士記念館を寄贈する   |
| 昭和 9  | (1934) | 東條英機、歩兵第 24 旅団長として赴任する(～昭和 10 / 1935)  |
| 昭和 10 | (1935) | 久留米衛戍病院、久留米陸軍病院に改称される  |
| 昭和 12 | (1937) | 日中戦争、始まる<br>第 18 師団が復活、久留米偕行社に師団司令部が置かれる   |
| 昭和 14 | (1939) | 第 2 次世界大戦、始まる  |
| 昭和 16 | (1941) | 日米開戦   |
| 昭和 20 | (1945) | 8 月 11 日、久留米市街地が米軍機による空襲を受ける(死者 212 人。一説には 214 人)<br>戦争終結、陸軍は解体される                               |

平成 31 年 3 月 21 日

◆発行  
久留米市教育委員会

◆編集協力  
高良山観光ボランティアガイドの会

◆問い合わせ

久留米市 市民文化部 文化財保護課

TEL 0942 (30) 9322

FAX 0942 (30) 9714

E-mail bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp